

地域における支え合いの可能性とケアをする人の生活に関する アンケート調査へのご協力をお願い

栗山町社会福祉協議会

この調査は独立行政法人福祉医療機構「令和2年度社会福祉振興助成事業」の助成を受けて行うアンケート調査です。

日本は介護を必要とする人が増え続けています。それに伴い、家庭や地域において無償でケアをする人も増えています。栗山町では、そのような形でケアをする人々を「ケアラー」と位置づけ栗山町社会福祉協議会を中心に「ケアラー支援事業」を実施してきました。

例えば、まちなかケアラズカフェ「サンタの笑顔」の開設や相談支援専門員「スマイルサポーター」の採用など様々な取組みを行っています。

本調査は、地域の中でケアが必要な人もケアをする人も地域でどのように支えていくことができるのか、事業に対する評価とケアラーの皆さまの実態や要望を詳細に把握することで、住みやすい地域づくりのための支援体制の構築や新たな制度を考えるための貴重な基礎資料になると考えています。

ここでいうケアとは、介護、看護、療育、世話、こころや身体に不調のある家族などへの気遣いを指しています。こうしたケアをする人が「ケアラー」です。



障害のある子どもの子育て、障害のある人の介護をしている



健康不安を抱えながら高齢者が高齢者をケアしている



目を離せない家族などの見守りやケアをしている



障害や病気の家族の世話や介護をいつも気にかけている



仕事と病気の家族の看病で他に何もできない



仕事を辞めてひとりで親の介護をしている



遠くにいる親が心配でいつも気にかけている

※一般社団法人 日本ケアラー連盟資料より

この調査は、栗山町、北海道科学大学のご協力のもとで、栗山町の全世帯の住民を対象にしています。

この調査には、各世帯1名の方がお答えください。

世帯の中にケアラーがいる場合は、主なケアラーの方1名がお答えください。

世帯の中にケアラーがいない場合は、ケアラーとして経験されていた方、これからケアをするかもしれない方、ケアの関わりに関心のある方、世帯主の方など、どなたか1名お答えください。

調査票への回答時間は20分程度です。また、個人情報管理についても徹底して行います。本調査への参加は任意であり、この調査に未回答でも社会的不利益は一切生じません。ご記入頂いたアンケートは返信用封筒に入れて12月15日までに返送して下さい。(また、社会福祉協議会やケアラズカフェ「サンタの笑顔」にお持ち頂いても構いません。)

なお、調査票を返送した後は匿名化されます。そのため、誰の回答なのかわからなくなりますので、調査票を返送した後は調査への協力が撤回できないことをご了承下さい。

調査結果は、北海道科学大学にも提供され、学術団体の学術集会や論文としても公表されることをご了承下さい。

【調査についての質問や問い合わせ先】 栗山町社会福祉協議会 TEL 0123-72-1322
FAX 0123-72-5121

【調査協力】栗山町・北海道科学大学



独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業